



税に関する作文コンクール



特選

生活を支える税金

貞光小学校 6年 竹内 紫穂さん

私は、税金が身の回りでどのように使われているか調べてみました。

「税金」という言葉の意味は、国民が国や地方に収めているお金だそうです。税金は、学校や警察署などのわたしたちが利用しているいろいろな施設など身近な所でよく利用されています。一番身近なことは教育です。毎日使う学校の教科書も無料で配布してもらっています。そして、医りょう費についても無料で受診してもらえ、薬も分けてくれています。今思えば、私は幼稚園の時に肺炎の病気で二十日間ほど入院しました。その時の注射や点滴など治りょうに医りょう費がたくさんかかったんだと思いました。

その他には、消費税です。買い物をする時に毎回八パーセントの消費税を納めています。だけど、この消費税が十パーセントに増税される予定です。増税されるということは、私の好きなおかしやジュースも今までより高くなってしまうので、消費税は上げてほしくないです。

けれども、わたしたちの生活は税金で支えられています。もし、税金がなかったらゴミを集めるにも救急車を利用するにも火事を消してもらうにも自分でお金をはらわなければなりません。

わたしたちが安全にそして快てきに暮らしていくためには、税金はかかせないものです。

税金はみんなのために役立つ活動や、社会での助け合いのための活動に使われていることがわかりました。将来大人になって働くようになったら、きちんと納税したいです。

特選

税の作文

半田小学校 6年 田岡 暁さん

ぼくは、税の勉強をするまで税金やなんではらうのと思っていました。でも、税金がないと困ってしまうことがたくさんあることを知ったのでこの税の作文を選びました。

税金、子どもが行っている学校にも使われていることがわかりました。教科書や黒板などに税金は使われています。もし学校がないと、じゅくや家で勉強したりしなくてはならなくなります。

そして、みんなが遊んでいる公園などもなくなってしまったり、消防署もなくなってしまいます。消防署がなくなると、もし火事で家が燃えてもだれも消してくれなくて、とても困ります。

税金は、人を助けるために使われていることは、税金をおさめているぼくにとってもとてもうれしいことです。ぼくは、税金は国じゃなくて店とかがもらっているのかと思っていましたが、少し学年が上がって、税の勉強わざわざ学校にきてまでぼくたちに教えてくれたことに感謝したいです。ぼくは、人を助けることや、人に夢をあたえてあげることは、とても素晴らしくて、かっこいいなと思っていました。なので税金をはらうことで、知らないだれかなのかもしれない。家族もいなくて泣いている子ども達なのかもしれない。でも、その子達を8%の税金で助けれるのであれば税金が安く感じてきます。

ぼくが、税の勉強をして、学んだことが、いくつかあります。一つ目は、税金みんなにとってなくてはならないものだということ。二つ目は、人というのは、みんな支え合って生きていくことが大切であることです。

税金は、他にもいろいろな所で使われています。道路を作ったり、警察署を建てたりするものにも使います。

ぼくは、この作文を読んでもらった人に「税金は大切だな」と思ってもらいたいです。ぼくも、他の人の作文を読んで、税の大切さ、そして作者の心までもが感じとれるような大人に成長していきたいです。